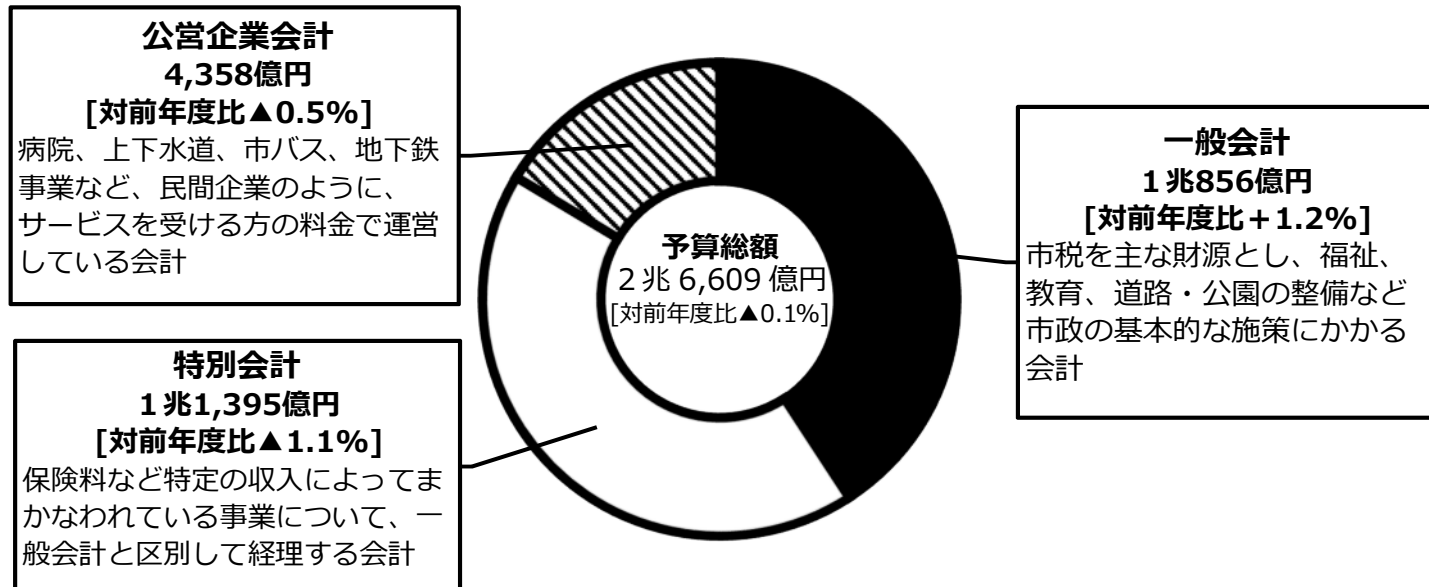


平成28年度名古屋市当初予算の概要

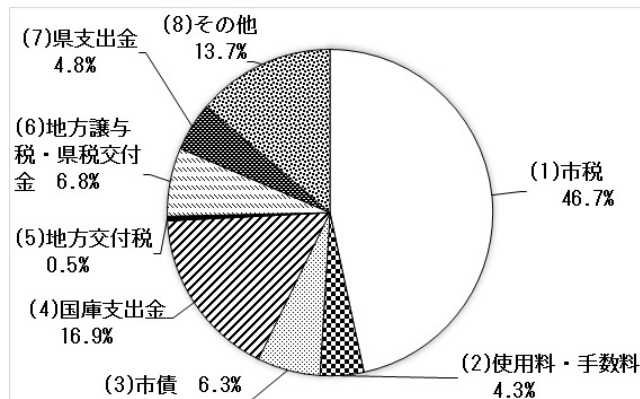
■予算の総額



■一般会計の歳入

区 分	28年度予算額	対前年度比
(1)市税	5,065億円	+1.3%
(2)使用料・手数料	470億円	+1.6%
(3)市債	681億円	▲3.6%
(4)国庫支出金	1,838億円	+4.7%
(5)地方交付税	50億円	0.0%
(6)地方譲与税・県税交付金	736億円	+0.7%
(7)県支出金	526億円	+3.2%
(8)その他	1,490億円	▲1.1%
合 計	1兆856億円	+1.2%

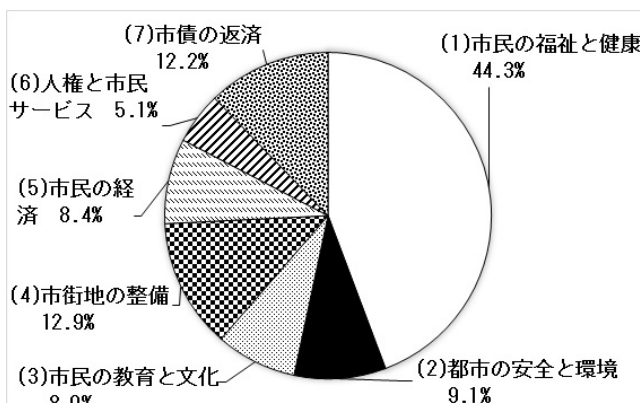
一般会計の歳入(1兆856億円)



■一般会計の歳出

区 分	28年度予算額	対前年度比
(1)市民の福祉と健康	4,807億円	+3.7%
(2)都市の安全と環境	985億円	▲3.7%
(3)市民の教育と文化	871億円	+2.0%
(4)市街地の整備	1,395億円	+2.4%
(5)市民の経済	915億円	+0.8%
(6)人権と市民サービス	558億円	▲5.9%
(7)市債の返済	1,326億円	▲1.6%
合 計	1兆856億円	+1.2%

一般会計の歳出(1兆856億円)



(金額等は四捨五入しておりますので、合計額が一致しないところがあります。)

■一般会計の主な新規施策

(金額は平成28年度当初予算額 1万円未満は四捨五入しています。)

(1)市民の福祉と健康

民間特別養護老人ホームの整備補助（新規整備…ユニット型289人・多床室140人、継続整備…ユニット型180人）	10億5,773万円
民間特別養護老人ホームにおける多床室の改修補助（既存多床室のプライバシー確保のための改修に対する補助 10カ所）	4億6,410万円
民間障害者生活介護事業所の整備補助（日中活動の場である生活介護を行う施設を整備 1カ所）	1億4,110万円
年金生活者等支援臨時福祉給付金（賃金引上げの恩恵が及ぶにくい低所得の年金受給者等に対する支援として支給）	75億7,000万円

(2)都市の安全と環境

指定緊急避難場所等に係る普及啓発（災害時の指定緊急避難場所及び指定避難所への避難行動に係る普及啓発）	4,200万円
地下街耐震改修等助成（地下街管理会社等に対し、耐震改修、天井改修等に要する費用の一部を助成）	7,511万円
湧水を活用したヒートアイランド現象緩和の実証実験（ヒートアイランド現象の緩和策として湧水の効果的な活用方法を探る実証実験）	1,769万円
南陽工場設備更新に係る調査（焼却設備更新に係る基礎的な調査）	800万円

(3)市民の教育と文化

コーディネーター支援講師の配置（なごや子ども応援委員会との調整役として、生徒指導担当教諭等をコーディネーターとし、その支援のための非常勤講師を全中学校に配置）	1億1,307万円
スクールカウンセラーの養成（公立大学法人名古屋市立大学と連携し、大学院人間文化研究科に開設する臨床心理士養成コースの運営に係る経費を負担）	1,387万円
次期文化振興計画の策定（総合的かつ計画的に文化振興施策を推進するため、次期文化振興計画を策定）	1,000万円

(4)市街地の整備

高坂荘地域コミュニティ形成モデル事業（団地内コミュニティの活性化を図るため、団地内の一部住戸を若年世帯向けに改修）	3,080万円
---	---------

(5)市民の経済

地域経済活性化促進事業助成（市内の商業団体等で構成される実行委員会が実施するプレミアム付商品券の発行事業に対して助成）	5,000万円
スタートアップ企業支援助成（成長が見込まれる企業の創業を促進するため、創業時等の経費に対して助成）	3,000万円
伊勢志摩サミット歓迎事業（平成28年5月に開催される伊勢志摩サミットに係る歓迎事業等を実施）	2,000万円
シティプロモーションの推進（都市魅力向上・発信に係る戦略を策定し、都市ブランドを確立するとともに、名古屋の魅力を効果的に発信）	5,000万円

(6)人権と市民サービス

杉原千畝顕彰事業（杉原千畝の功績と名古屋とのゆかりを広く伝えるため、顕彰事業等を実施）	600万円
区民会議の開催（区民の意見を集約し、区政への参画を推進するため、全区で区民会議を開催）	960万円
区まちづくり基金の設置（区にゆかりのある人や区民の区のまちづくりへの想いを活かすため、区まちづくり基金を設置）	1,600万円

この定例会の概要(速報版)は、市ウェブサイト(市会情報)でもご覧いただけます。市ウェブサイト(市会情報)〔アドレス<http://www.city.nagoya.jp/shikai/>〕からお入り下さい。